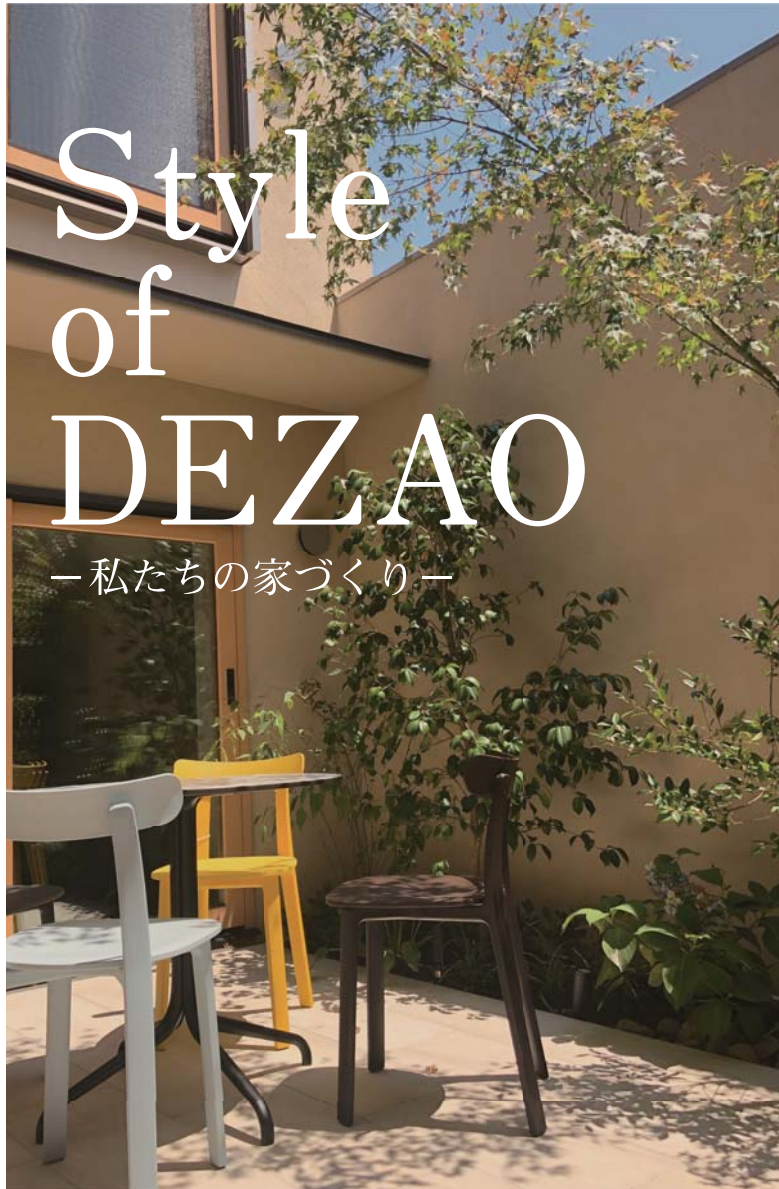


Style of DEZAO

— 私たちの家づくり —



～北野新展示場について⑦～

新たな北野展示場「つなぐモデルハウス“とこしえ”」が8月11日にオープンを迎えます。今出川七本松、上七軒の地にあやかり、7つのつながりを体現した展示場になります。7つのつながりについては展示場にお越し頂いた際に現地スタッフの説明に譲らせて頂こうと思うのですが、設計担当として最も見どころと考えるのは外部との「つながり」です。

徒然草にも「家のつくりようは、夏をむねとすべし。」とあるように、日本人は古来から西洋的な外部へ閉じる住まいの方向性ではなく、縁側にも象徴されるような外部とつながる住まいづくりを目指してきたのではないかと思います。

しかしながら、日本人の今日的な生活様式の変化は、室内の快適性を求めた結果、外部とのつながりを躊躇なく切り捨ててしまっているように感じます。昨今のアウトドアブーム等はそういった日本人がかつて持っていた外部とのつながりの復権という見方もできるのではないのでしょうか。

京町屋には日本人がかつて持っていた暮らしの息吹が宿っています。町のなかにありながら、坪庭などの外部環境を上手に家の中に取り入れたり、街並みを形づくる格子の意匠は、プライバシーを保ちながら光を取り入れる装置でもあります。そういった京町屋の遺伝子を形を変えて踏襲し、更に現代の建築手法を加えることで、家族の皆が快適で、健康で、安心して住めることはもちろんのこと、よりサステナブルに生活を「つなぐ」住まいを目指しました。

百聞は一見に如かず。ぜひ展示場にお越しください。

家づくりに関する
最新情報をチェック!

The Latest News

工

エネルギーを自給自足するモデルハウス、誕生!

昨年末から建て替え工事を行っていたデザオ建設の北野展示場が、**8月11日(土)**、いよいよ**グランドオープン**を迎えます!これまでのデザオ通信でもお伝えしてきましたが、外に閉じて中に開く「コートハウス」を想定したプランニングやこだわりの設備・内装の仕様など、見どころはたくさん。その中でも特徴的なのが、V2H (Vehicle to Home) と HEMS (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム) を連携させた、**エネルギーを自給自足する**仕組みを採用している点です。簡単にいうと、太陽光発電で電気をつくって、それを電気自動車に貯め、家庭内でその電気を消費するということです。

「そもそもV2Hって何?」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんね。V2Hとは**電気自動車に貯めた電気を家で使う**仕組みのこと。これまでは「移動するときに使うもの」という概念だった車が、蓄電池がわりに使える時代が来ているというわけです。特に活躍するのが災害などによる停電時。電力供給が寸断されてしまった場合でも、駆動用バッテリーから電力を取り出して家の電力として使用することができるんです。さらにこのV2HをHEMSと連携させることで、太陽光発電でつくった電気の量をどこでどれだけ実際に消費しているかがひと目でわかるので、無駄な電力をカットしたり、家庭内で使わない分は電気自動車に貯めたりと、賢く省エネな生活を送ることが可能に。これまでとは違った電気のつくり方・使い方ができる時代になっています。

とはいえ、いまいちピンと来ない方もきっと多いはず。来月オープンする新北野展示場「つなぐモデルハウス“とこしえ”」では、実際に**停電デモンストレーション**を体感することもできます。ちょっと未来の、でもすぐその暮らしを体験してみたい方はぜひお越しください。

V2H (Vehicle to Home) の

チェックポイント

Check Point

どんなことができる??

もしもの時でも安心!車が非常用電源に
停電や震災などで電力供給がストップしてしまった場合でも、駆動用バッテリーから電力を取り出して、家の電力に使うことができ、もしものときでも普段に近い暮らしを送ることができます。

自然エネルギーを有効活用!
太陽光パネルで発電した電力のうち、家庭で利用しない分を車のバッテリーに貯めておくことができます。これにより、自然エネルギーを必要な時に家庭用の電力や車の電力として無駄なく利用でき、エコな暮らしを実現します。

経済的なメリットも!
割安な深夜電力を電気自動車に充電しておき、日中に家庭用電源として供給することもできます。こうした活用により、電気代の節約にもつながります。



電気自動車と住まいの連携が見られる新北野展示場「とこしえ」。ぜひお越しください!